

# 牛の居る風景シリーズ半田市亀崎神前神社(県社)編

神社名：神前神社（旧県社） 愛知県半田市亀崎町2丁目9番地

知多半島半田から三河である高浜に渡る衣浦大橋に近い場所にあります。

5月3日の潮干祭りの山車で有名な神社です。裏手の公園に亀崎城を示す石碑がありますが、本丸は更に北の現在住宅地になっている丘陵上にあったとのこと。



今回はこの菅原道真公を祭る両側に狛犬ならぬ牛が両側を守っています。かわいいですね。



道真公は承和十二年六月二十五日乙丑の年に、ご生誕になり、延喜三年二月二十五日の丑の日に薨ぜられ、また「菅家聖廟略伝」には、菅公自ら遺言をされ、「自分の遺骸を牛にのせて人にひかせずに、その牛の行くところにとどめよ」とあり、その牛は、黙々と東に歩いて安楽寺四堂のほとりで動かなくなり、そこを御墓所と定めた、と書かれています。

ほかにも、天神さまと牛との関わりについて数多く見られ、道真公がいかに深く牛を慈しんでいたかも窺われます。

このようなことから神社の境内には石造りの臥牛があり、牛の角をなでていく方、手を合わせていく方、鼻が悪いといって鼻をなで、足が悪いのでと足をなでていく方、・・・と多くの方々から「撫でうし」として信仰されています。

牛さんの前に置いてあるのは馬桶でしょうか？



皆さんが撫でて、鼻がてかてかになってます。



これは向かって左側の牛です。おみくじの中でひっそりと鎮座してます。右下はお札をおさめるところでしょうか？



(以上 取材 2012年1月14日土曜日 楽酪隊 飯田)

普段意識していないと見過ごしがちですが、街の中にも牛がこんな風に居るんですね。牛にこだわる我々としては、こんな風景を探し出して紹介したいと思います。